

指導者 T1 ○○ ○○
T2 ○○ ○○
T3 ○○ ○○
展開場所 体育館

1 単元名 表現運動「表現」 ～ 我ら北佐原探検隊！ ～

2 単元について

(1) 一般的な特性

① 機能的特性

- ・自己の心身を解き放して、リズムやイメージの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動である。
- ・互いの違いやよさを生かし合って仲間と交流して踊り、楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

② 構造的特性

- ・2人組や3人組など少人数グループで表現しながら、表したい感じに近づく動きを選んだり、友達のよい動きを取り入れたりできる運動である。
- ・表したいイメージを自由に表現する創造的な探求型の運動である。

③ 効果的特性

- ・題材の特徴をとらえ、動きを組み合わせたり繰り返したりすることで、調整力や持久力を高めることのできる運動である。

(2) 児童から見た特性

○多感な児童たちの多様な欲求に応じて表現の楽しさを味わうことができる運動である。

○他者とかかわるという「創る・踊る・見る」の活動を通して、仲間と教え合ったり、励まし合ったり、共感し合ったりできる運動である。

○中学年までに培った多様な身体感覚やコミュニケーション能力をもとに、創造力を膨らませることができる活動である。

△自分をさらけ出すことを恥ずかしいと思う児童にとっては、体全体を使って大きな動作をすることが難しい運動である。

△器械運動をはじめとする他の領域と違い、「できた」ことが明確に自覚しづらい運動である。

(3) 児童生徒の実態 (第3学年 男子○名 女○名 第4学年 男子○名 女子○名 計○名)

知識	ジャングルはどんな場所だと思いますか。 (聞き取り) 【3年・4年合同】	3年	・大きな木 ・竹 ・海 ・山 ・川 ・滝 ・洞窟 ・草がたくさん ・沼 ・島 ・不気味な音
		4年	
	ジャングルはどんなことが起こりそうですか。 (聞き取り) 【3年・4年合同】	3年	・○○にさらわれる。 ・○○に襲われる。 ・道に迷う。 ・宝物を発見する。 ・沼にハマる。 ・川で溺れる。 ・○○と仲良くなる。 ・毒キノコを食べちゃった。 ・食べ物を発見する。 ・ターザンをする。 ・滝に流される。 ・空腹で倒れる。
		4年	
	ジャングルにはどんな生き物がいますか。 (聞き取り) 【3年・4年合】	3年	・虫 ・猿 ・熊 ・ゴリラ ・蛇 ・鳥 ・人魚
		4年	

		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
知識及び技能	動物を表現することができたか。 (観察) 【象・ゴリラ・チーター】	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名
	曲に合わせて自由に踊ることはできるか。(観察)	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名
	効果音に合わせてジェスチャーをする。(観察)	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名
思考・判断・表現	めあてをもって運動していますか。(アンケート)	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名
	めあてにあった練習方法や場を選んでいますか。(アンケート)	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名
	友達の良いところや改善点を見つけ、伝えていますか。(アンケート)	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名
主体的に学習に取り組む態度	体育科の授業は好きですか。(アンケート)	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名
	表現運動は好きですか。(アンケート)	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名
	運動に進んで取り組んでいますか。(アンケート)	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名
	音楽に合わせて体を動かすことは好きですか。(アンケート)	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名
	変身して何かになりきることは好きですか。(アンケート)	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名
	用具の使い方は、約束を守り、安全に気をつけて使うことができますか。(アンケート)	3年	○名	○名	○名	○名
		4年	○名	○名	○名	○名

本校では3・4年合同の体育学習を行っている。両学年児童とも、体育科の学習を楽しみにしている児童が多く、活動的で休み時間も進んで外遊びをする児童が多い。

体育科の授業では、自分のめあてをもって学習に取り組むことができていることが分かる。しかし、めあてに合った場や練習方法を選んで活動できない児童が○名いる。また、友達の良いところや改善点を伝え合うことができると児童は答えているが、「あともう少し。」「頑張って。」「よかったよ。」「凄いいね。」などの声掛けが中心で、「もっと○○したほうがいいよ。」「○○がよかったから、次も○○を意識してやろう。」などの、技への具体的なアドバイスはまだ不十分である。友達の良いところや改善点を伝え合うことがあまりできない児童もいる。全ての児童が、約束を守り、安全に気をつけて体育学習を行っていることが分かる。

実態調査より「ジャングルの中で○○に出会った！逃げろ！！」や、「チーター同士の決闘だ！」と指示を出すと、子ども達は一生懸命その指示された動きをしたり、動物になりきって体を動かしたりして

いた。しかし、まだ恥ずかしさが抜けていない児童や、同じ動きを繰り返したり、全体が似たような動きになったりしてしまっていた。『変身して何かになりきることは好きですか。』の「あまりあてはまらない・あてはまらない」と回答した理由は、「恥ずかしいから。」「笑われるのがいやだ。」「どうしたらよいのか分からない。」「体の動かし方が分からない。」と答えた。

(4) 指導観

本単元は、学習指導要領「F 表現運動 ア 表現」から「空想の世界からの題材」を行う。運動が苦手、体を動かすことが苦手と感じている児童にとっても、その一人一人の動きに良さを見出し、自信をもって取り組める学習である。

恥ずかしさが抜けていない児童や、どのように体を動かしたらいいか分からない児童に向けての手立て、かかわる楽しさを味わう手立てを以下のように行い、児童が少しでも恥ずかしがらず自信をもって動けるようにしていく。

- ・ ジングル、深海、宇宙に関する本や図鑑を図書館から借りてきたり、ジャングル、深海、宇宙に関する本の読み聞かせの時間を確保したりする。
- ・ ジングル、深海、宇宙に関する映画や動画投稿サイトの映像を視聴し、世界観から感じたことや出てきた生き物やの動きを表現する。
- ・ 多様な動きにするために異学年で構成されたチームを6チーム作る。

くずす（変化）ことで、動きは自然にダイナミックで豊かな表現になる。そこで、表現運動を楽しむポイントとして①空間（場）のくずし②体のくずし③リズムのくずし④人間関係のくずしの4つのくずしを児童の言葉で指導の中に取り入れて、一人一人の動きをダイナミックで豊かな表現に近づけていくように支援する。また、1つの動きを区切って行うのではなく、流れがとぎれないようにして、「ひと流れの動き」につながるようにする。

上記の手立てを行うことで、一人一人が「北佐原探検隊！」の主人公や動物になりきって学習できると考える。

3 単元の目標

- 全身で表現する方法を知るとともに、探検隊や題材の特徴を捉え、リズムに乗って全身で表現することができるようにする。（知識及び技能）
- リズムに乗って自由に踊ったり、探検隊や場面の様子をとらえ、それに合った動きを選んだり見つけたりして、その取り組みがより楽しくなるために工夫することができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- 運動の行い方の決まりを守り、友達と励まし合って練習や発表、交流をすることができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

4 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとまり ごとの評価規準	運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ろうとしている。	自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えようとしている。	運動に進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、友達の動きや考えを認めようとしていたりしている。また、場の安全に気を付けている。
単元の 評価規準	① 題材の特徴や感じの捉え方を理解しているとともに、それをひと流れの動きで即興的に表現することができる。 (観察) ② 表したい感じを中心に、動きにメリハリを付ける行い方を理解しているとともに、それを表現している。 (観察)	① 動きのポイントを知り、楽しく踊るための自己にあった課題を見付けている。 (観察・学習カード) ② 特徴を捉えた動きや変化のある動きなど、よかったところを友達に伝えている。 (観察・学習カード)	① 踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで運動に取り組もうとしている。 (観察・学習カード) ② 運動の行い方の決まりを守り、友達と励まし合って練習や発表、交流をしようとしている。 (観察) ③ 運動する場の安全を確かめる。 (観察)

5 指導と評価の計画

時間	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8
0	オリエンテーション1	準備運動、ほぐしの運動						
10	・学習内容の確認	・探検隊の一日　・〇〇探検に行こうよ！　・止まってポーズ　・ミラー体操　・コピー						
20	・ワークシートの書き方の確認	宇宙探検・海底探検・ジャングル探検				本時のねらい（学習課題）の確認		
30	・安全の約束の確認	本時のねらい（学習課題）の確認				表したい探査と場面別にグループを作る。 気に入った場面を選び「はじめとおわり」をつけて踊る。 ○表したい探査の場面に「はじめとおわり」をつけて動きのストーリーを考える。 ○一番表したい場面の様子が現れるように工夫する。 (工夫のポイント例) ◆感じの異なる動きや急変する動きでメリハリをつける。 ◆対応する動きや対立する動き動きを組み合わせる。 ◆対極の動きを繰り返して印象的に踊る。 見せ合って感想を伝え合う。		
40	・場の準備や片付けの仕方の確認	小テーマの特徴的な場面や動きを、いくつかみんなでやってみる。 ○教師のリードで急変する動きを入れながら即興的に踊る。						
	・感覚づくりの運動遊びの確認	・ロケット発射 ・無重力の宇宙遊泳 ・宇宙人との遭遇 等						
	・探検隊の動きのイメージカルタを作る。	☆飛び出す、吸い込まれる、無重力など緩急をつけて ☆勢いをつけて ☆ゆったり、ふわふわ	☆対立したり、対抗したり、不思議な、奇妙な動き ☆緩急のある動き ☆友達と別々に、一緒に	☆多様な場面での静と動のメリハリのある動き ☆いろいろな姿勢で ☆速く、ゆっくり				
		カルタめくり、ひと流れの動きにして即興的に踊る。 ○3～4人組でカルタをめくり、動きに差をつけて誇張したり、対応する動きをくり返したりしてひとながれの動きにして即興的に踊る。 よかったところをほめたり、アドバイスしたりして、ひと流れの動きを見せあう。						
		振り返り → 整理運動 → 整列・健康観察・挨拶 → 片付け						
知			①観察			②観察		
思		①観察・カード			②観察・カード		②観察・カード	②観察・カード
態	③観察	②観察		①観察・カード		③観察		

※知…「知識・技能」、思…「思考・判断・表現」、態…「主体的に学習に取り組む態度」

6 本時の指導（5／8）

研究仮設（1）

他者とかかわる必要性のある場面を意図的に仕組み、互いの良さを認め合ったり、励まし合ったりする活動を取り入れれば、自ら課題を見つけ、課題を解決する児童が育つであろう。

本時は、前時までに学習してきた4つのくずしを取り入れながら、ジャングル探検の「どろどろした道」「笑いキノコを食べちゃった」「〇〇と〇〇の戦い」等のイメージカルタを即興的に表現する活動である。イメージカルタをめくり即興で表現する場面において、兄弟ペアを作り、互いの良さを認め合ったり励まし合ったりする活動を取り入れれば、自ら課題を見つけ、解決する児童が育つであろう。

（1）目標

○題材の特徴や感じの捉え方を理解しているとともに、それをひと流れの動きで即興的に表現ができるようにする。 【知識・技能】

◎特徴を捉えた動きや変化のある動きなど、よかったところを友達に伝えている。

【思考・判断・表現】

○運動の行い方の決まりを守り、友達と励まし合って練習や発表、交流をしようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

（2）展開

過程	時間	学 習 内 容 と 学 習 活 動	指導・支援（○）、評価（☆）	用具 資料
はじめ	15分	1 集合、整列、挨拶をする。 2 ほぐしの運動（準備運動）を行う。 ○準備運動、ウォーミングアップを行う。（どれか1つ） ・止まってポーズ ・ミラー体操 ・コピー ・探検隊が〇〇 ・探検隊の一日 等	○しっかりと整列し、挨拶できるようにする。（T1） ○児童の健康状態を確認する。（T1） ○支援の必要な児童へ声掛けを行う。（T2・T3） ○効果的な準備運動が行えるように、具体的な声掛けを行う。（T1・T2・T3） ○ウォーミングアップ（ダンス）の隊形になるよう指示を出す。（T1） ○協力して安全に素早く場づくりができているかを確認する。（T1・T2・T3） ○体全体を使って、自由に自分の思うままに踊るよう促す。（T1・T2・T3） ○体の動き、リズム、関わり、空間に変化をつけたり、大きく動いたりしている児童をほめる。（T1・T2・T3） ○一緒に動きながら、動きが滞っている児童の支援をし、活動の活性化を図る。（T2・T3）	・CD（音楽） ・タンバリン ・ワイヤレスマイク ・CDラジカセ
なか	20分	3 学習のねらいと個人のめあてを確認する。 ジャングル探検のイメージをつかみ踊ろう！ ○ワークシートにねらいと個人のめあてを書く。 4 前時までのカードを数枚確認し、代表チームが即興的に表現する。	○前時までの学習を想起させ、本時の学習のめあてを確認する。（T2） ○学習のめあてと個人の目標を確認する。（T2） ○支援の必要な児童の近くに行き、声掛けを行う。（T1・T3） ○イメージカルタを数枚提示し、カルタの動きを確認する。（T2）	・ワークシート ・CD（音楽） ・掲示資料（くずし）（動き）（ポイント） ・カルタ ・曲

		5 見せ合う活動をする。 ○チームでイメージカルタをめくり、題に応じた動きをする。 ○2チームごとに分かれ、見合い、教え合う。 ・前半3分、教え合い3分、後半3分、教え合い3分。	○兄弟ペアを作り、互いの良さを認め合ったり、励まし合ったりすることを確認する。(T2) ○動きの分からない児童の手本となる動きをしたり、友達の動きを真似するよう促したりする。(T1・T2・T3) ○いろいろなものになりきったり、イメージしたことや感じたりしたことを表現することを伝える。(T1・T2・T3) ○体の動き、リズム、関わり、空間に変化をつけたり、大きく動いたりしている児童やグループをほめる。(T1・T2・T3) ○一緒に動きながら、動きが滞っているグループや躓いている児童の支援をし、活動の活性化を図る。(T1・T2・T3) ☆特徴を捉えた動きや変化のある動きなど、よかったところを友達に伝えようとしている。(観察) ○腕の動き、体の使い方、指先、表情など、見る場所を明確にし、よかったところを見つけるよう声かけをする。	・デジタイマー
まとめ	10分	6 本時の振り返りを行う。 ○振り返りをペアで行う。 ・振り返りを記入する。 ○全体で本時の学習を振り返る。 ○友達の動きでよかったところを発表する。 7 整理運動を行う。 ○整理運動後、整列、健康観察、挨拶をする。	○授業の振り返りを記入するよう促す。(T3) ○支援の必要な児童へ助言する。(T1・T2) ○友達の良かったところを発表するよう促す。(T1・T2・T3) ○体育係を中心にストレッチを行うよう促す。(T1) ○効果的な整理運動が行えるように、具体的な声掛けを行う。(T1・T2・T3) ○けがをしていないか確認をする。(T3) ○見通しをもつことができるよう、次時の活動を伝える。(T1)	・ワークシート